

# 平成 28 年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会

## － 第 1 回理事会 〈総会〉 － 議事録

日時：平成 28 年 6 月 24 日（金）

午後 1 時 30 分～4 時

会場：みなみのかぜ支援学校

	小中学校地区理事の先生方	支援学校理事の先生方
1 3 時 3 0 分～1 3 時 4 5 分	<p>2 階 職員室</p> <p>知的部会について説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宮崎県特別支援教育研究連合の組織の説明について（別紙）</li> <li>○ 九特連大会の開催について 再来年度に宮崎県が開催県となること、小中学校地区理事の先生方にも、大会の理事をお願いすること。</li> <li>○ 作品展について <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的部会であるが、情緒障がいの児童の作品を出してもよいか？</li> <li>→本来は知的障がい児に限るが、ゆとりがあるため、参加をしても良いと思う。</li> <li>・作品は地区ごとに展示する区域を分けるのか。</li> <li>→地区ごとに展示する。展示の方法は地区ごとに決定。（別紙参照）</li> </ul> </li> </ul>	<p>1 F 校長室</p> <p>研究大会打合せ会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究大会運営校のるびなす支援学校の原田先生が研究大会についての前日準備、当日の動きについて配布し、確認をした。</li> <li>○ 各係の先生方に連絡があるか確認した。</li> <li>○ 参加申し込みがない当日の参加者への対応はどうするか？ →中央支援の玄関内に入ってもらい、担当スタッフが対応する。</li> </ul>
1 3 時 5 0 分～1 6 時 0 0 分	<p>2 階 職員室</p> <p>I 開会行事</p> <p>(1) 副会長あいさつ 宮崎市立大塚小学校 矢野旨宣校長 本来の会長の橋本先生、坂本先生が全国大会に出席しているため、代わりに挨拶をさせていただく。 特別支援学級設置について文科省から行政説明があった。 小学校の情緒障がい児が増えてきている。知的障がい児もほぼ同率で増えてきている。教室設置の問題、職員、コーディネーターの問題。様々な問題にこの知的障がい教育研究部会でアプローチしていきたい。</p> <p>(2) 本日の日程、配付資料確認</p> <p>(3) 出席者自己紹介（名簿参照）</p> <p>II 総会</p> <p>(1) 平成 27 年度知的部会事業報告 p 1. 2 ○ 7 月 30 日の研究大会実施について、11 月の福岡の九特連の実施について。</p> <p>(2) 平成 27 年度知的部会会計報告 p 3 ○ 質問、意見無し</p> <p>(3) 平成 28 年度知的部会事業計画（案） p 4. 5 ○ 年間の日程の報告。11 月 11 日に九特連の内容について報告ができればということ。17, 18 日の佐賀大会の発</p>	

表者について。

- (4) 平成28年度知的部会会計予算(案) p 6
  - 質問、意見なし。→承認
- (5) 知的障がい教育研究部会規則 p 7. 8
  - 質問、意見なし。
- (6) 九特連・全国連大会提案者等について p 9. 10
  - 分科会の発表県についての説明(10ページを参照)
  - 大分大会での発表校についての決定について
    - 小中特研に事務局の方から相談する。
  - 全国大会での発表校も県内から出すが、どの学校になるか未だ未定。
  - 今年度の研究大会予算が4万ほど増えている。その理由は?
    - 昨年度2万5千円程の残額。るびなすが運営校を2年続けて行っている。昨年の残額がある。今年度は遠方から講師を呼んだこともあり、4万にした。
- (7) その他

### III 第2回研究大会実行委員会

- (1) 大会概要説明(別紙参照)
  - 障がいの重度化と軽度化の2極化とはどういうこと?
    - 県の資料などを引用して、現況を述べている。
    - 「障がいの重度化と軽度化の2極化」という文言は、文章を発送しているため変更はできないがよろしいか。会終了後に文言についての問い合わせをお願いします。
- (2) 係分担について(別紙参照)
  - 名前等の訂正について
  - 講座4については記録はするのか?
    - プライベートに関わること。記録内容が公開されることを考えたときに、記録をするかどうかについてはまた考えて伝えることにする。
- (3) 各係から
  - 作品展示について(別紙参照)
  - アンケートについて(きりしま支援小林校拂山先生)
  - 作品会場の撤収に人員を借りれないか
    - 設営については中央支援の職員が、撤収については理事から人員を。
  - 作品の募集については早い時期に催促して欲しい。
    - 昨年度2月に事務局からの連絡はしてあり了承してもらっている。地区の会で、報告が降りていないのでは?
  - 地区で作品を募集した場合、沢山参加者がいた場合、あふれてしまうのでは?よい方法はないか?
    - その地区で作品の集め方を工夫をしていただきたい。
    - 作品展示の在り方についてはまた、事務局で検討する。
  - 理事は研究大会の参加申し込みはしなくても良いのか?
    - しなくても良い。
  - 弁当の注文については?
    - 申し込みを受けて何人かを注文。前日・当日の注文で対応もできる。業者には誤差が生じることは伝えてある。理事は前日に注文を取る。
  - 8時50分に集合、9時20分から受付を開始する。
  - 理事は日大高校グラウンドに停める。
- (4) 前日準備について
  - 支援学校の職員は中央支援学校の高等部3年1組に集合。小・中学校の職員は職員室に集合。

- 欠会者がいる場合は代理を立てて参加していただく。
- (5) 係打合せ

#### IV 連絡事項

- (1) 平成30年度九州特別支援教育研究連盟 宮崎大会  
日程：平成30年8月2・3日

(1日目 全体会・2日目分科会)

- 合理的配慮の実際 13名、交流及び共同学習 6名
- 県特研連で、九特連大会などが実施される場合、他の研究大会などの開催を中止するなどの工夫が必要では？  
→ 今後話し合っていきたい。

- (2) 負担金納入について (別紙参照)

- 質問、意見無し。

- (3) その他

- 中央での研究大会での駐車場案内について。(別紙参照)

#### V 閉会行事

- (1) 副会長あいさつ 宮崎市立大塚小学校 矢野旨宣校長

- 義務制の学校と支援学校の先生が同じ場で話し合いをすることが良い機会であると感じた。とても建設的な話し合いができていたと思う。

できないことを嘆くのではなく、できることを喜ぶことが特別支援教育の原点であると思う。今後の発展を願いたい。